

今月のトピックス

- ・鹿角を代表する45者が集結！……《かづの産業見合市 速報》
- ・首都圏で鹿角をPR、ポスター第2弾……《鹿角ブランドPR強化事業》
- ・夢花火でDJ、見合市で米粉商品PR……《鹿角ブランドアップ戦略レポート》
- ・ホームフォトグラファー姉妹！桃麴登場……《鹿角ヒト・モノ情報》
- ・寒シング4……《室長コラム》

かづの産業見合市 2012

**たくさんのご出展、ご来場
ありがとうございました！**



多くの来場者で賑わう会場

去る11月15日、ホテル鹿角で開催された「かづの産業見合市2012」は、市内外から約350名の来場があり、市内の多くの事業者の出展のもと、盛大に開催することができました。どの出展者の方も自社の商品、技術、サービスについて工夫をこらしたPRを行いました。今年は首都圏の高級スーパーやホテルなどのバイヤーを招へいし、個別商談会を開催しましたが、はじめは慣れない商談にとまどう様子の事業者の方も、徐々に商談に慣れ、自社の商品を積極的にPRするなど、熱のこもった商談が繰り広げられました。

見合市の様子は次号以降で改めてレポートします！開催にあたり、ブランドアップ関係機関団体の方々に多くご支援・ご協力を頂戴しましたこと、心からお礼を申し上げます。



農商工親連携の本質を説いた
ブランドアップセミナー講師の鎌谷氏



静岡県精正の
メタルドラゴン



株式会社海星の冷凍でまりずし



ディスプレイも
各者の工夫が



十和田精密工業㈱「Swingname」



写真もまじえてPR。ワイナリーこのはな



有びゅあアート技術のステージ装飾の展示



株式会社利佐商店。試食で市場調査

鹿角いいね！キャンペーンポスター第2弾で首都圏PR

鹿角いいね！キャンペーン



JR東京駅・新宿駅・池袋駅・横浜駅・渋谷駅に貼り出されたポスター

首都圏に向けて鹿角市をPRしている「鹿角いいね！キャンペーン」のポスター掲示第2弾を実施しました。10/15～21までの7日間、JR東京駅・新宿駅・池袋駅・渋谷駅・横浜駅の5箇所にポスターを掲示し、渋谷駅を除く4駅では、特産品のカードをポスター全面に貼り付け、カードを手にとってご応募頂いた方全員にカードに記されている特産品をプレゼントする、ピールオフキャンペーンを実施しました。

ポスターの図柄は、日本サッカー協会最高顧問川淵三郎氏と、漫画家高橋陽一氏の描き下ろしによるキャプテン翼のキャラクター、花輪出身の立花兄弟の出演によるもの。自治体によるポスターを用いての参加型キャンペーンは全国でも例がなく、多彩な特産品のカードが所狭しと156枚も並んだポスターは、カード1枚1枚を読んで確かめるため、足を止める方が多くありました。よく読んでいただくことで、鹿角の特産品を知ってもらい、鹿角を記憶に残してもらうことができました。鹿角の主要な特産品が集まったポスターは、まさに特設の物産展さながら。また、鹿角の農商工親が連携したまさにプラットフォームとなりました。

キャンペーンと共に始まったフェイスブックでのPRは、1000を超える「いいね！」を頂戴することができました。「いいね！」という賛同、共感が好意的に広がり、平均シェア率10%を越え、鹿角を応援する気持ちが集まるページへと成長しました。

キャンペーンの実施にあたり、数多くの事業者の方に、ご協力を頂戴してここにこぎ着けることができました。この場を借りてお礼を申し上げます。また、さらなるPRにつながるようこれからもご協力をお願いします！



当選者から寄せられた写真
かづの牛が食卓に



カードをはがすと
応募券に



東京駅・新宿駅・池袋駅・横浜駅で実施された
ピールオフキャンペーン



カードを前に、じっと見ている通行者

【鹿角ブランドアップ戦略レポート】

コミュニティFM プロジェクト



去る10月26日、鹿角市制40周年記念事業の一環として、鹿角青年会議所主催の「KAZUNO夢花火2012」が鹿角市総合運動公園で行われました。

開局準備チームは、アルパス第1駐車場で聴取できるミニFM局を開設し、花火が上がるまでの間、電波とスピーカーで、市民からメールやファックスで寄せられた「夢」をDJ風にご紹介させて頂きました。

お天気には恵まれましたが、気温が低く寒かったため、駐車場では車内のラジオで「夢花火」を楽しむ方々も見受けられ、ラジオの効果性を感じ取ることが出来ました。

秋空を彩る300発の花火の中に皆さんの夢と共に、私たちの「開局への夢」も打ち上げて頂きました。



桃 花 プロジェクト

桃花プロジェクトがきっかけとなって、また一つ新たな北限の桃を使った商品が生まれそうです。(株)浅利佐助商店で、北限の桃を使った、たれ、つゆの開発に挑戦しています。たれ、つゆは、桃の風味を活かしながら、焼き肉、しゃぶしゃぶで肉に合うものとなるよう絶妙な味を目指しています。桃の生の風味を損なわない加工に成功すれば、桃加工品の可能性が一気に広がります。桃のタレで味わう、鹿角の肉。地元根ざした新たな特産品の種となりそうです。

米 粉 プロジェクト



先述の「かつの産業見合市2012」では、米粉プロジェクトによる鹿角地域の米、または米加工品による商品ラインナップが「しこっ魂きりたんぼの里プロジェクト」として初めてそろう踏みました。

商品は、米粉を使ったドーナツ・せんべい・スナックを含めた米菓類から、パンや餅などの御菓子、米麺や鹿角産米きりたんぼ・かた焼きそばなど、主食に相当する分野の商品や地酒等がお披露目されました。



MADE in 鹿角 モノ情報

(有)安保食品 「桃 麺」



創業以来一貫して麺類製造を行い、「食」の原点に立って本物の味を追求してきた(有)安保食品が、今年度開発した「桃麺」は、地域資源の有効利用という観点と、自社の持ち得る技術を経験させて開発した商品と言えます。市場には流通せず廃棄されようとしている規格外品を利用したという点では、画期的な商品と言えます。麺にほうれん草やモロヘイヤや海藻などを練り込んだ商品やりんごのペーストを練り込んだ商品は存在しておりましたが、桃麺の商品化は日本初と思われます。「桃」がイメージさせる高級感や上質感を麺にする事により、この「桃麺」を麺で食すことはもとより、スイーツや和菓子等に利用されるというあらゆる可能性を秘めている



と言っても過言ではありません。パッケージデザイン・食感・商品プロモーション等々、今後深く研究開発する余地があるものの、イメージ戦略やレシピ提案をする事により、消費者や市場に受け入れられる商品に成り得るものと思われます。商品そのものが鹿角をイメージさせ、そして(有)安保食品の主力商品となり「ここでしか味わう事のできない」そんな商品に育ってほしいと思います。



PEOPLE of 鹿角 ヒト情報

トザワ写真室 兎澤三果さん 佐藤澄果さん

「写真はカメラマンとお客さまで一生の宝物を作り上げる共同作業、お客さまと一緒に感動を共有し、シャッターを切ります。」そう語ってくれたのは、トザワ写真室カメラマン・佐藤澄果さんとフォトアドバイザー・兎澤三果さん。



6月には長年親交のある家族をモデルに、頭の中にあった構図をそのまま表現した佐藤さんの会心作が、第6回日本写真館賞「家族写真の部」優秀賞を受賞されました。

昭和11年に創業してから76年目の今年10月、仕上がった写真だけではなく、写真室で過ごしていただく時間もすべて楽しんで頂きたいと、トザワ写真室はリニューアルオープンしました。ホームドクターならぬ“ホームフォトグラファー”を目指して、お客様の思い出やお子さまの成長と一緒に感じ、喜び、その想いを受け止め、記録としての



一枚ではなく、お客様の一生の宝物となる一枚を届けたいと常に心掛け、家族の歴史に寄り添う写真館として祖父の創業以来変わらない想いが父へ、そして二人の娘へと連鎖と受け継がれています。

つぶやき～コラム～

「サムシング・フォー」という言葉を聞いたことがあるだろうか。最近、あるテレビドラマで、この言葉を知った。フォーとは4である。この意味は、結婚式で花嫁が4つのもの～なにか一つ古いもの、なにか一つ新しいもの、なにか一つ借りたもの、何か一つ青いもの(青は聖母マリアのシンボルカラー)～を身につけると幸せになれるという欧米の結婚式習慣のことである。このことを聞いた瞬間、今我々が取り組んでいる「地域ブランド化」を支える屋台骨となる産業分野のブランドアップがまさにこの言葉そのものと感じた。

自分たちが長年築いてきた伝統、技術を守りながら、次代を見据えた新たな分野へもチャレンジし、そのための、自分達では出来ない分野については、他の分野から応援してもらい、連携し、「モノ」にとってのシンボルとなる商品名、ラベルを持つこと。それが幸せな鹿角を支える産業にとってのサムシング・フォーなのだと思う。

「幸せは歩いてこない～…」こんな歌があった。そして、寒い季節がやって来る。「サムシング・フォー～起きたくない、動きたくない、やりたくない、外に出たくない～」にならないよう、気合いをいれてからねば。

(プラードル)

